

全会員対象アンケート（2020年11月25日実施）

2022年度改定に向けて初・再診料等を引き上げるためのアンケート

対象者数 2299 回収数 240 回収率 10.4%

1. 市中肺炎、インフルエンザや新型感染症を含め、感染防止対策として初・再診料等を各何点引き上げるべきと要求しますか？（1つだけ選択）

【初診料】 288点から何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	10点未満	24	10%
2	10～20点	83	35%
3	21～30点	55	23%
4	31～40点	23	10%
5	41点以上	51	22%
回答数 計		236	100%

※ 回答率の分母は回答数。

【再診料】 74点から何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	5点未満	17	7%
2	5～10点	66	28%
3	10～20点	58	25%
4	21～30点	37	16%
5	31点以上	54	23%
回答数 計		232	100%

※ 回答率の分母は回答数。

【小児科外来診療料】 は各何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	10点未満	8	10%
2	10～20点	16	21%
3	21～30点	18	23%
4	31～40点	18	23%
5	41点以上	18	23%
回答数 計		78	100%

※ 回答率の分母は回答数。

※ 欄外に「初再診料に含まれる血圧測定等を別途算定可にすればと存じます。（昔点数ありました）」 「（再診料）100点ほしい」 「小児科外来診療料100点以上の引き上げ」との記述あり。

2. 現在は評価されていない（特に再診時）と思われる医師の「基本的な診察や処置等」の費用として、上記「1. 」とは別に初・再診料等を各何点引き上げるべきと要求しますか？

【初診料】 288点から何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	10点未満	38	16%
2	10～20点	85	36%
3	21～30点	49	21%
4	31～40点	17	7%
5	41点以上	44	19%
回答数 計		233	100%

※ 回答率の分母は回答数。

【再診料】 74点から何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	5点未満	29	13%
2	5～10点	60	26%
3	10～20点	59	26%
4	21～30点	35	15%
5	31点以上	44	19%
回答数 計		227	100%

※ 回答率の分母は回答数。

【小児科外来診療料】 は各何点引き上げるべきでしょうか。

	選択肢	回答数	回答率
1	10点未満	9	12%
2	10～20点	16	21%
3	21～30点	18	24%
4	31～40点	16	21%
5	41点以上	16	21%
回答数 計		75	100%

※ 回答率の分母は回答数。

※ 欄外に「問診時間加算（10分間超の時）10点加算は考えられませんか。精神科及び往診等での長時間加算もありますが。」「（無回答で）このままでよい。政府がCOVID-19関連で予算を多く使っているから」との記載あり。

※ Q1、Q2の再診料引き上げに対して選択肢を選択せず、欄外に「一律の引き上げは不要では。1か月～3か月に1回の診察の内科系と毎回診察される科では違うべきでは。」との記載あり。

3. 院内投薬を行う先生に質問します。2020年度の改定で入院外の調剤技術基本料が6点引き上がりました。しかし常勤薬剤師の勤務を確保するためには、まだまだ程遠い点数だと協会は判断しています。算定要件を満たして算定するために、先生は入院外の患者に投薬を行った場合の調剤技術基本料を何点引き上げるべきと要求しますか？

【入院外の調剤技術基本料】14点を+ _____点引き上げるべき。

回答数	127	人
平均値	17	点
中央値	10	点
最小値	0	点
最大値	100	点

・欄外（入院外の調剤技術基本料）への自由意見の記載

142番	(26点の引き上げを求める根拠) 月500回処方、給料20万円として1回400円。
153番	(40点の引き上げを求める根拠) 薬剤師の給与30万円、30人院内投薬として。
201番	当然、調剤薬局と同じ点数であるべき。

4. 院内投薬を行う先生に質問します。

(1) 先生の医療機関では、院内投薬のための分包機を所有されていますか？

	選択肢	回答数	回答率
1	所有している	90	61%
2	所有していない	57	39%
回答数 計		147	100%

(2) 「1 所有している」先生に質問します。どれ位の稼働率でしょうか？

院内投薬している患者の _____% に対して薬剤を一包化している。

回答数	78	人
平均値	30	%
中央値	20	%
最小値	0	%
最大値	100	%

院内投薬している患者の _____ 件 に対して薬剤を一包化している。

回答数	23	人
平均値	162	件
中央値	15	件
最小値	0	件
最大値	200	件

(3) 「1 所有している」先生に改めて質問します。協会は一包化に対する点数を新設すべきと考えますが、何点を要求しますか？

	選択肢	回答数	回答率
1	調剤薬局の調剤報酬と同じ点数とすべき	73	81%
2	こういう点数にすべきだ	8	9%
3	不要だ	1	1%
4	分からない	8	9%
回答数 計		90	90%

※ 分母は4-(1)で「分包機を所有している」と回答した方。

「2 こういふ点数にすべきだ」の自由意見

35番	150点
80番	50点
124番	100点
155番	150点
170番	当院ではペポリアルミ箔分包のため一週間分原価75円かかっているため材料費として7点以上の報酬があると良い。
178番	20点以上
211番	1～2点
227番	手間、物品代として

・欄外（一番下）への自由意見の記載

4番	私としては小児抗菌薬適正使用加算の方が引き上げてほしいと思います。
16番	長期投薬希望がコロナと同時にとても増えています。再診料や1か月以上の長期投薬に対応する策を講じてほしいです。
81番	調剤薬局の調剤料が医師の再診料より高いのは何故でしょうか？おかしい。時間をかけて診療している。評価が低い。
98番	点数が付けば分包の件数はUPする見込み。
134番	（「一包化の評価は調剤報酬と同じ点数とすべきだ」との回答に加えて）もしくはその80%ぐらい。
146番	院外処方をもっと後にはしなくてはならないとき、院内調剤技術基本料を取り消さないといけないのはおかしい。